

# 「すだれ放流」「こいのぼり」実施しました！

開催期間  
H29.4/29～5/7

- H29. 4. 29(土)～5. 7(日)「すだれ放流」「こいのぼり」を実施しました。本年は鳴子ダム60周年を記念して還暦を祝う赤いこいのぼりも設置されました。会期中は天候にも恵まれ約10,500人の方々にご来場いただきました。5月2日のオープニングセレモニーの様子や会期中の様子を写真でご紹介いたします。



オープニングセレモニーでは、すだれ放流に合わせてバルブからも放流しました。



挨拶をする伊藤大崎市長



すだれ放流実行委員会会長の高橋鉄夫氏



銘板が埋め込まれた石碑の除幕式の様子



平成28年9月に、公益財団法人土木学会から「選奨土木遺産」として東北のダムとして初めて認定されました。



選奨土木遺産認定を記念して贈られた銘板



鳴子伝統踊り保存会による舞が披露されました。



鳴子ダム60周年を記念して8mの赤いこいのぼりが設置されました。



満水まで貯めた雪解け水が勢いよく流れ落ちます。



元気に泳ぐこいのぼりを下流から見上げた様子



108号線沿いから眺める人の姿も多く見られました。



ダイナミックな水しぶきと優雅に泳ぐこいのぼり。地元の子供達により新たに描かれたこいのぼりも披露されました。



こいのぼりの影が、滝をのぼっているように見えることから「鯉の滝のぼり」と親しまれています。



桜の花びらの舞とすだれ放流が楽しめました。



天端から見た迫力の流れ



地元の方々による産直販売





管理所入口のこけしもお色直しました。鳴子ダム還暦を祝ってあかいちゃんちゃんこを着て皆様をお待ちしています。